

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護給付適正化事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	菊池 義博					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護(予防)サービス利用者 居宅介護支援事業所	意図	・適正な介護サービスが受けられるようにする。 ・適正な居宅介護サービス計画が作成できるようにする。
事業内容	介護給付費の通知：介護サービス利用者に対して利用状況を通知し、介護保険への理解と事業所の不正請求防止を図る。 ケアプラン点検：市職員が居宅介護支援事業所を訪問し、ケアプランの点検及び指導を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年7月 介護給付適正化支援パッケージシステム購入 平成23年2月 流山市ケアプラン点検事業実施要領作成			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	給付費通知発送件数	17,751	18,448	17,989		件
②	ケアプラン点検実施事業所数	3	4	6	件	↗↗		
③	不適切請求指摘件数	184	105	29	件	→→	利用者ごとに1月につき1件	
④	不適切請求による報酬返還額	325,742	1,176,313	283,999	円	→→		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 流山市ケアプラン点検事業実施要領に基づき、ケアプラン点検を実施（平成28年度 6件実施） 不適切請求 29件 報酬返還額 283,999円 介護保険事業の適正かつ効率的な運営のために、不適切な介護給付を削減し、介護給付の適正化を図るもので、今後も継続する。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		12,300,235	12,848,088	12,445,764				
事業費(b)(円)		4,294,235	4,222,088	4,461,764				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		8,006,000	8,626,000	7,984,000				
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	・事業所への点検・指導を行う ・現在の制度・点検内容に即した点検票を作成する。	③取組の課題	・給付費通知の発送に多大な時間を要している。 ・ケアプラン点検の効果的、効率的な方法を検討する必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	・ケアプラン点検の一環で、点検項目の整理表を作成し、一覧で確認できるようにした。	④今後の改善計画	・給付費通知の発送事務を見直し、時間短縮を図る。 ・他自治体の事例を参考にケアプラン点検の方法を検討する。